

年度 2008 学期 前期	曜日・校時 水一4	必修選択 選択	単位数 2
授業科目/(英語名)	社会と歴史(図書館概論) Society and History (Introduction to Libraries)		
対象年次 1・2年次	講義形態 講義	教室	
対象学生(クラス等)	全学部	科目分類 人文・社会科学科目	
担当教員: 長澤多代 / Eメールアドレス: nagasawa@nagasaki-u.ac.jp / 研究室: 総合教育研究棟 202 号 / TEL: 095-819-2087(内線 2087) / オフィスアワー: 火・木 14:00-15:30			
<p>授業のねらい: 図書館は、人間の知的生産物である記録された知識や情報を収集、組織、保存し、人々の要求に応じて提供することを目的とする社会的機関である。図書館の構成要素は「情報(資料)、場、人」である。図書館の種類として、国営の国立図書館、都道府県や市町村が運営する公共図書館、小学校・中学校・高等学校に設置された学校図書館、大学・短期大学・高等専門学校に設置された大学図書館、企業や専門機関等に設置された専門図書館などがある。本科目のねらいは、受講生が、情報サービス機関としての図書館、生涯学習の場としての図書館の仕組みとその機能について、図書館に関する理論と実践について研究する学際的学術分野である図書館情報学 (Library and Information Science) の枠組みを通して理解することである。</p> <p>授業方法: 主として講義によるが、グループ・ワークを一部に組み入れる。また、長崎市内の図書館を訪問する。</p> <p>授業到達目標:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 図書館情報学における基本的な事項、問題とその背景を説明できるようになる。 ● 図書館情報学に関する基本的な概念と専門用語を説明できるようになる。 ● 大学図書館の学習・教育支援機能に関する基本的な事項、問題とその背景を説明できるようになる。 			
<p>授業内容(概要)</p> <p>全体は大きく前半と後半からなる。前半(第1回から10回)には、図書館の種類を特定せず、どの図書館にも概ね共通する図書館情報学の基本的な事項について学習する。後半(第11回から15回)には、大学図書館に焦点をあて、学生の学習活動や教員の教育活動を支援する学習・教育支援機関としての大学図書館の機能について学習する。</p> <p>第1回 総論: 図書館の種類と機能, 図書館情報学 第2回 図書館史: 西洋史, 日本史 第3回 メディア: 図書, 逐次刊行物(雑誌, 新聞など), 視聴覚資料, 電子資料 第4回 書誌コントロール: 目録, 分類 第5回 情報検索: 検索式(論理演算, 検索語), データベース 第6回 図書館サービス: 閲覧・貸出, 図書館相互貸借, レファレンス・サービス, 図書館利用教育 第7回 図書館の施設と設備: 施設, 設備, サイン, ラーニング・コモンズ 第8回 図書館員: 図書館情報専門職, 図書館情報学教育, 関連団体及び機関 第9回 図書館訪問(第2回から第9回までのいずれかに実施します) 第10回 中間試験, 前半のまとめ 第11回 大学図書館の意義と機能: 研究支援機能, 学習・教育支援機能, 社会貢献機能 第12回 日本の大学図書館, 海外の大学図書館 第13回 大学図書館の学習・教育支援機能: 大学教育改革と大学図書館 第14回 大学図書館の学習・教育支援機能: 情報リテラシー教育-①情報リテラシー教育の目的と方法 第15回 大学図書館の学習・教育支援機能: 情報リテラシー教育-②情報活用プロセスと図書館の利用 全体のまとめ</p> <p>※ 各回の詳しい内容, 目標及び課題等については, 第1回の授業において説明する。</p>			
キーワード	図書館学, 図書館情報学, 大学図書館論, 大学図書館の学習・教育支援機能		
教科書・教材・参考書	教科書: 藤野幸雄; 荒岡興太郎; 山本順一『図書館情報学入門』有斐閣, 1997, 230p.(有斐閣アルマ)1,700円<中央図書館 請求記号:010.1> その他の参考書等については, 授業において適宜紹介する。		
成績評価の方法・基準等	<ul style="list-style-type: none"> ● 中間試験 40点 ● 課題(宿題) 5点×10回=50点 ● 図書館訪問の報告 10点 <p>上記の合計 60点以上が合格の基準となる。ただし, 合計が 60点以上であっても, 中間試験が 19点以下(60%未満)の場合には, 単位を与えない。</p>		
受講要件(履修条件)	教科書を必ず購入すること。		
本科目の位置づけ /学習・教育目標			
備考(準備学習等)	<p>教室外の学習として, 60時間の準備学習及び復習をすることが必要である。根拠は次のとおり:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本科目の単位を取得するのに必要な学習時間の総量:90時間=単位制度によって定められた1単位の習得に必要な学習時間(45時間)×2単位(本科目の単位数) ・教室内における学習時間:30時間=2時間(90分)×15回 ・教室外に必要な学習時間:60時間=90時間(教室内外の学習時間)-30時間(教室内の学習時間) 		